

質問 近年、町の人口は減少傾向にあり、出生率も低く、未来を担う若者の町外への流出も懸念される中、町は安心して暮らし続けられるまちを目指して施策を推進している。満足度の低い公共交通の課題にも具体的な取り

組みを開始し、またモノレール延伸も大きく前進している。我が町は子育て環境に優れ、人も温かい。町の魅力を内外に発信し、人を呼び込み、地域活性化につながるシティプロモーションに積極的に取り組むべきと考える。

町長 特色のある行政サービスや施策を町外に発信し、さまざまな魅力や将来性を町の営業活動につなげる総合力は不十分であると思

教育長 本来の機能が発揮できる場として、有効に活用できるように検討していく。



下野 義子 議員 (公明党)

我が町も積極的なシティプロモーションの取り組みを



町長 町の地域資源の確立を目指す



カワセミ (狭山池)

シティプロモーションとは…
地方自治体が行う「宣伝・広報・営業活動」のことで、地域のイメージ向上やブランドの確立を目指し、地元経済の活性化などを目的とした取り組み。



小山 典男 議員 (自民新国会)

瑞穂町におけるICT活用について



教育長 AI技術の活用は、欠かせないものと考えている

質問 新たな社会 Society 5.0 時代を迎え、コンピュータの発達が目覚ましく、仕事場、学校、家庭にはパソコンが普及し、タブレット端末が活躍している。予測困難な変化の激しい社会を生きていくために必要な

資質・能力をばぐくむためには、教育におけるICTの活用が必要不可欠と考える。そこで、「みらいにずっとほこれるまち」の実現に向け、庁舎内及び学校でのICT活用の現状と課題について、町長、教育長の所見を伺う。



コンピュータ操作を学習している児童 (四小)

AI (人工知能) とは…
人間にしかできなかったような高度に知的な作業や判断を、コンピュータを中心とする人工的なシステムにより行えるようにしたもの。



小川 龍美 議員 (公明党)

さらなる子育て支援の推進を



町長 既存の事業との整合性を検討し、実施していく

質問 少子化に歯止めがかからない中、妊娠から子育てまで切れ目のないサービスや安心して生み育てられる環境づくりなど、さらなる子育て支援が求められる。2020年度、都が打ち出した補助事業を活用し、さらなる支援に取り組むべきと考え次の点について伺う。

町長 特色のある行政サービスや施策を町外に発信し、さまざまな魅力や将来性を町の営業活動につなげる総合力は不十分であると思

教育長 本来の機能が発揮できる場として、有効に活用できるように検討していく。

質問 ① つきようママパ。パ応援事業について
② ファーストバースデーサポート、③ 産後家事・育児支援事業、④ 多胎児家庭支援事業。
町長 「つきようママパ。パ応援事業」は、子育て支援策を推進している町の考えとおおむね一致している。ファーストバースデー



子育て支援に取り組んでいる保健センターの窓口

SDGs (エスディーゼーズ) とは…
英語名称のSustainable Development Goalsの略。2030年までに誰一人取り残さない世界を実現しようとする共通理念。17のゴール (目標) と169のターゲット (項目) などで構成。

大坪 国広 議員 (日本共産党)

国民健康保険制度の現状と多子世帯への減免について



町長 制度上の課題は、国が責任を持って対応すべき

質問 国民健康保険の加入者は、年金生活者や非正規労働者、失業者などの低所得者が8割を占めている。毎年高年齢化の進行と医療費が増加する中で安心して医療の充実を求め、次の3点について町長の所見を伺う。

町長 多子世帯とい



4人姉弟

町長 多子世帯とい